

# しゃくなげ



DENSOKU  
No. 491号

発行日 2021年3月15日  
発行 株式会社でんそく



## 2021年3月期決算を迎えて



代表取締役社長 櫻井 賤男

3月に入ってようやく周辺の雪が無くなりました。今年1月、2月2度にわたって大雪警報が有り、公私共に大変厳しい冬でしたが、ようやく北陸にも春がやって来ました。昨年11/3以来、関西電力様様の原子力発電所の稼働が零となっていました。そんな中で1月上旬(8日～12日)寒波で電力会社様の電力使用率が99%に達した中で、1/17大飯原子力発電所4号機、3/7高浜原子力発電所3号機が再稼働され安堵しているところです。この様な状況下で3月期を迎える事が出来る事に対して、お客様、納入業者様、そして社員の皆様に厚く御礼申し上げます。

今年度は上期として電源開発様南川越変電所侵入警戒装置以外大きな案件がない中でスタートしました。工事部として、4月より黒部川第四発電所での緊急工事発注(油モレ)、電源開発様様の大津岐発電所、奥只見発電所のケーブル撤去工事、そして西日本電気システム様新白山変電所工事等遠隔地工事で計画に近い実績を出す事が出来ました。製造部は前年比、電源開発様向け以外のお客様からの受注が不調で、一社ではカバー出来なかったのが実情です。今月システム開発部で物品管理システムを関西電力(株)庄川水力センター様へ納入させていただきました。IoT技術を駆使した製造部商品化第1号です。又、関西電力様市荒川水力発電所昇降装置(水槽監視)が3月末納入に向けて取り組んでいます。最後迄安全に気配りして

無事故無災害で年度を終えたいと思います。

人材育成の面から昨年11月よりコミュニケーション活性化のテーマで江幡先生(外部講師)にご指導をお願いしています。改めて皆様に説明する前に自分自身が身につけてない事が分りました。大事な事は相手に伝える事によって、本人にやる気(鼓舞)を起こさせる事。そして「部下の小さな成長であっても褒めて認める」ことが大事であることを教えて頂きました。でんそくも180名の技術集団です。全員が同一指向の協力的体制でなければ強い組織として期待出来ません。

ある雑誌で日本電産社長 永守 重信氏の記事がありましたので紹介します。『創業間もない頃、どこへ行っても仕事ももらえず、受注出来た注文は他メーカーがやらない仕事ばかり、技術者は絶対無理だという。そういう時、皆んなに「出来ます。出来ます。」と100回言おうというわけです。「どうや」と云うとそれでも「いや出来ません」今度は1000回言う。そうすると不思議とだんだん出来る気分になってくる。そういう気分になった時、一気に始める。こうやって日本電産を小型モーター日本一のメーカーに押し上げた。』今私共の営業部にも大変厳しい注文が来ています。これをものにする為にも参考になると思います。

あと半月で今年度も終了します。事故災害とクレームそしてコロナ感染者を絶対に出さない様お願いします。

## 安全パトロール ～福井開閉所～



製造部 永山 瑞穂



(福井開閉所安全パトロール)

定期的に行われる安全パトロールに今回初めて参加させて頂きました。北陸電力送配電(株)殿福井開閉所の配電盤室は新設の建物ということもあり、現場では内履きを準備し床の汚れや掲示物の貼り方にも配慮しながら作業されていました。また、作業前の安全憲章5ヶ条唱和とKY・TY活動を確実に実施し「安全」に留意されていました。

「充電」部分での作業に対して検電器を使用する事はもちろんですが、思い込み作業の危険性も踏まえたうえで注意喚起や表示にも明確な対策が必要だと改めて思いました。現場を見る事知る事のひとつひとつが勉強になり、現場が原点であると再認識しました。今まで設計に携わった物件のケーブル接続や稼働中の現場を見る機会が少なかったのもよい経験になりました。

これからもお客様に納得し喜んで頂ける様なものづくりに努めていきたいと思っています。

## 救命救急法講習会

工事部 M.O



2021年2月19日(金)、KANSOテクノス富山統括支店様主催の2020年度「救命救急法講習会」に参加しました。

今回の講習では、突然の心肺停止を防ぐために、心肺蘇生法・AEDの使用方法を実践を交えながらの内容でした。

心肺蘇生法の受講では、近年の情勢(新型コロナウイルス)のことから呼吸の確認後すぐに胸骨左迫のみ行い続けると教わり、一度受けたら良いということでもないと感じました。また、今回の講習で突然の心停止の中には予防していくことができるものもあり、心停止にならないようにすることが大事だと言われ、予防できるように日常生活も気を付けようと思いました。

## 「任して任さず」の第4段!

### 「任して任さず」

松下電工会長 丹羽正治著  
東洋経済新報社

昭和48年、松下電工はオイルショックによる住宅不況の直撃を受け、収益が大きく落ちこんでしまった。

その時、丹羽会長は、ここで焦ってはならないと考えた。社会的な激動期における経営の舵取りは「浮袋経営」が良い。その意味するところはどんなに海が荒れても浮袋がついていれば決して沈まないということもあるが、世間全体の景気が落ち込んだら我が社だけ従来どおりの高さになくても、水面が下がれば、その水面に合わせて自分達も下がる。浮袋につかまりながらじっくり世の中の推移を見極め、世の中が落ち着いてきたと判断したら伸びていくことだ。無理は禁物、世の中の激変は素直に順応、同化しながら時期を待つ。今はただ水面に浮いている努力をすることだ。

新型コロナウイルスの感染拡大で、多くの企業が影響を受けています。当社も例外ではありません。当社にとっての浮袋は何でしょう。また、水面が沈んだ時は必要以上のぜい肉を落とし、体形を整える機会でもあると書かれていました。

(M.T)

## 「私の提案」インフォメーション 『優秀改善賞』

11月 屋外キュービクル等の主銘板ビス止め部からの発錆防止対策として主銘板と扉の間にゴムワッシャーを取り付ける。  
製造部 K.T

1月 黒部峡谷鉄道機関車の屋根取り外し時の玉掛方法改善  
工事部 S.S

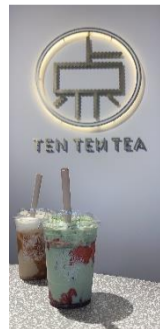
1月 発電所水密扉支柱に運搬用キャスターの取り付け  
(小牧発電所にて施工済み)  
工事部 M.S

(提案推進委員会)

## 私のおススメの店

### 点点茶(てんてんちゃ)

2020年10月に環水公園の北側すぐの場所に「環水テラス」という新スポットがオープンしました。その中にある「点点茶」というお店で、日本茶/中国茶とジェラートが楽しめます!七尾市の人気店「能登ミルク」のジェラートも味わえますよ!  
(Y.M)



## ～編集後記～

3月に突入し、日増しに暖かくなってきて、本格的な春の訪れを感じますね!あと2週間ほどで今年度も終わりです。先月の編集後記で「気づいたら4月でした!」とならないようにと書いていたのですが、あっという間に4月になっていそうです…。とりあえず何か終わらせたいと思い始めたのが毎年恒例断捨離です。片付け始めると出てくる出てくる本が!!私は通信買取という荷物を宅配で送って買い取ってもらうサービスを何年前から使用しているのですが、手続きをしてみると買取の数が300点近くでした…。自分の部屋の本棚のどこに入っていたのか本当にわかりません。しかし送ってみるとやはり部屋がすっきりしたなあと思います!一つでもやりたかったことを終わらせるとやはり気分がいいですね!  
(Y.M)